



作物の食味を決める遺伝子の特定と育種利用

日本で唯一のユネスコ食文化創造都市の地域特性を生かし、個性豊かな地域社会「鶴岡」の持続的な発展形成を最終目標に掲げ、私は地元で豊富に存在する作物に着目した研究を行っています。その中で、地域で守り育まれてきた作物の「おいしさ」に興味を持ち、その「おいしさ」が作られるメカニズムについて、遺伝子レベルの解析をしています。



交雑集団を大規模に栽培



遺伝子研究に必要な交雑集団を自ら作成し、その「おいしさ」と遺伝子型の相関関係から、「おいしさ」を決定する遺伝子を見つけ出します。

作物のおいしさが、いかにして守り育まれてきたかを、遺伝子を道具として利用し解明することで「陸の豊かさを守り、飢餓をゼロに」貢献するとともに、おいしさの科学的証明によって地域に「住み続けられるまちづくり」に貢献します。

【担当】

名前: 星野 友紀

専門分野: 作物育種学

連絡先:

thoshino@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp